



公益社団法人 園芸文化協会

創立80周年を祝う会を開催

会場：国際文化会館（東京都港区六本木）

園芸文化協会は先の大戦末期の昭和19年(1944年)に創立され、戦乱で荒廃した国の復興から平和な社会への移り変わりへと歩みを同じようにして、令和6年(2024年)に創立80周年を迎えて、このたび祝う会が開催されました。当日は60名様に参加いただき、会場は華やいだお祝いムードに溢れました。

第1部 記念式典

冒頭、司会の須磨佳津江常務理事から協会のあゆみについての説明があり、長岡求会長の挨拶で式典が始まりました。続いてご来賓の文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課長 中安史明様、農林水産省農産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室長 大塚裕一様、国土交通省都市



局公園緑地・景観課緑地環境室室長 望月一彦様からご祝辞を頂戴しました。

今回、創立80周年を記念して、これまで協会活動にご賛同いただき

ご支援くださった47社の賛助会員様(3ページ一覧参照)、特に多大なるご支援をいただいていた株式会社サカタのタネ、タキイ種苗株式会社、株式会社ミヨシグループの3社



長岡求会長



文部科学省 中安史明様



農林水産省 大塚裕一様



国土交通省 望月一彦様

様、そして、長年協会の発展にご尽力いただいた三好世紀前会長と小笠原左衛門尉亮軒元会長に感謝状を贈呈しました。それぞれを代表して、横浜植木株式会社代表取締役会長渡邊秀一様、株式会社ミヨシグループ代表取締役三好正一様、園芸文化協会 三好世紀前会長に感謝状をお受け取りいただきました。

記念式典終了後、ご参加の皆様には紅梅の蕾が綻び始めた庭園へ移動していただき、記念写真を撮影いたしました。

第2部 新作講談披露と祝宴

創立 80 周年を記念して、講談師

神田あおい様による新作講談「園芸文化協会はじまりの物語」の高座が行われました。

初代会長島津忠重公爵の生い立ちから始まり、園芸文化協会の前身である花卉同好会設立から園芸文化協会創立、そして協会誌『園芸文化』が発刊まもなく没収されたときのエピソードが語られました。語りで聞くことで協会の歴史が身近に感じられて理解が深まり、大変良い講談でした。

楽しく講談を聞いた後、公益社団法人日本植物園協会会長 西川綾子様のご挨拶と乾杯のご発声で祝宴が始まり、和やかな歓談の輪ができて楽しい祝宴の時間となりました。

園芸の持つ魅力は不変で、この先も



(株)ミヨシグループ 代表取締役 三好正一様

我々を癒し、楽しませてくれる存在であり続けます。園芸文化協会は、活動を通じて多くの人に園芸の楽しさと文化的価値を伝えていく役割を担っていると、改めて感じた記念式典でした。

(南場)



感謝状の贈呈 横浜植木(株) 代表取締役会長 渡邊秀一様



三好世紀前会長



講談師 神田あおい様





感謝状贈呈

◆賛助会員（令和6年3月10日時点在籍）

- | | | |
|---------------------|--------------------|---------------------|
| ・愛知豊明花き流通協同組合 | ・柴田園芸刃物株式会社 | ・株式会社プラネット |
| ・株式会社赤塚植物園 | ・株式会社島津興業 仙巖園 | ・株式会社フラワーオークションジャパン |
| ・株式会社アタリヤ農園 | ・住友化学園芸株式会社 | ・株式会社プランツパートナー |
| ・株式会社アボック社 | ・第一園芸株式会社 | ・有限会社ホリーホックガーデン |
| ・イノチオ精興園株式会社 | ・タキイ種苗株式会社 | ・松村園芸株式会社 |
| ・株式会社NHK出版 | ・株式会社辻本智子環境デザイン研究所 | ・株式会社マミ |
| ・園芸ネット株式会社 | ・東京港埠頭株式会社 | ・株式会社ミヨシグループ |
| ・株式会社大田花き | ・株式会社東商 | ・株式会社武蔵野種苗園 |
| ・株式会社大田花き花の生活研究所 | ・ナチュラル・ハーベスト有限会社 | ・合同会社村田商事 |
| ・太田油脂株式会社 JOYアグリ事業部 | ・株式会社日広通信社 | ・株式会社メイクマン |
| ・ガーデンプレイス・花のワルツ | ・日本園芸協会 | ・メネデール株式会社 |
| ・有限会社風のみどり塾 | ・日本体育施設株式会社 | ・株式会社ユーキャン |
| ・カネコ種苗株式会社 | ・株式会社ハイポネックスジャパン | ・横浜イングリッシュガーデン |
| ・玄艸園 | ・株式会社花ごころ | ・横浜植木株式会社 |
| ・有限会社コマツガーデン | ・株式会社花の和 | ・株式会社ランドフローラ |
| ・株式会社小森谷ナーセリー | ・株式会社ハルディン | ・株式会社リッチェル |
| ・株式会社 サカタのタネ | ・福花園種苗株式会社 | |

以上 50 社（50 音順敬称略）

◆歴代会長

- ・公益社団法人園芸文化協会 元会長（現隠居） 小笠原左衛門尉亮軒
- ・公益社団法人園芸文化協会 前会長 三好世紀

日本ハンギングバスケット協会の これまで、そして未来

—The Japan Hanging Basket Society (JHBS)—

一般社団法人日本ハンギングバスケット協会 理事長 上田奈美

日本ハンギングバスケット 協会の設立

1990年、大阪にて花の万博が開催され、屋外会場に、これまでにない大きな立体装飾の花ボールが飾られ、その美しさ、素晴らしさに多くの人々が魅了されました。更に国内で新しい器材の開発、そしてガーデニングブームが追い風となり、1996年、名古屋市東山動植物園・園長であった坂梨一郎氏が初代理事長となり、日本ハンギングバスケット協会が発足しました。同時にハンギングバスケットマスター認定試験制度を開始し、ハンギングバスケットやコンテナガーデンについての技術、植物の基礎知識を習得し、教室や講習会などを通して指導、助言できる資格を認定する制度を始めました。私はこのマスター試験を受験した1期生であり、2022年、マスターから

の初の理事長となり現在に至ります。

日本ハンギングバスケット 協会の目的

日本ハンギングバスケット協会の目的は、ハンギングバスケットやコンテナガーデン等を利用した装飾園芸の普及に努め、地域社会と連携して、『花育の推進、花と緑にあふれた街づくりの実現』に寄与することを定款に明記しています。単に自宅に花を飾り楽しみ、ビジネスに専念するだけでなく、作品を通して、出来る限り地域社会と交流し、多くの人にその魅力を伝え、街の花飾りのリーダーを目指して欲しいです。

ハンギングバスケットマスター 認定試験

ハンギングバスケット認定試験は、毎年1回、学科試験と実技試験を開催

します。学科試験はテキストをもとに「概論」、「用土と器材、制作・管理方法」、「デザインとカラーコーディネート」、「植物の基礎」の4講座をテキストに沿ってオンラインにて講義を行い、試験までの一定期間（1カ月程）に何度でも好きな時間に受講することができます。試験は全国3会場に分かれ、学科試験（1時間）と実技試験は同日、自分で制作した作品を会場に搬入し、作品の評価を受けます。学科試験、実技試験の両方が一定基準に達すると合格となります。

ハンギングバスケットマスター、 公認講師、本部講師

現在ハンギングバスケットマスターは全国に約1800名、県単位で34支部（合同も含む）があり、研鑽を高めるために研修会の開催、地域イベントへの参加、交流会等、独自に活動を繰り広げています。経験を積み、マスターとして5年以上在籍し、研修会、支部活動等に参加し条件を満たすと、「マスターを指導する立場として『公認講師試験』」、更に条件を満たしたゴールド公認講師には「公認講師を指導する『本部講師試験』」の受験資格が与えられる制度を設け、日々の研鑽を推奨しています。この春、公認講師99名、本部講師9名が在籍し、協会の本部事業に参画し、協会活動の中心を担っています。

ハンギングバスケット会員の 日々の活躍

全国の会員は実年齢を忘れる程（笑）明るく元気に満ちた人が多いです。これは花と緑をコミュニケーションの大事なツールとして、地域の子供たち



日比谷公園ガーデニングショー

へ、高齢者の方へ、生きがいづくり・花育・福祉の観点で、仲間と共に広く活動をしているからと理解できます。「植物にかかわることでもたらす生きるパワー」を信じて、心身ともに健やかに更に活動を広げて欲しいと思います。

これまで、そして未来

全国マスター会(1998年～2022年)

第1回全国マスター会は1998年に始まり2022年まで全国各地を回り、会場装飾、デモなどを披露し、マスターとの交流をはかりました。その中でも第2回全国マスター会では高円宮久子妃殿下をお迎えし、その後も第5、10、14回とご臨席を賜り、心清らかな素敵な時間を共有させていただきました。これは、日本橋三越本店での園芸文化協会主催「花の文化展」にてハンギングバスケットコンテストを觀賞いただいたご縁であり、現在も、高円宮邸の中庭に、吊り下げ型ラウンドバスケット2基を季節に合わせた花々で飾らせていただいております。

日比谷公園ガーデニングショー(2003年～)

日比谷公園開園100周年を記念して始められた2003年「第1回日比谷公園ガーデニングショー」より現在も会場内のフोटスポット制作、コンテストの開催、門飾り、ワークショップ等々、東京支部と講師会が力を結集して活動しています。

臨海副都心おもてなしプロジェクト(2014年～2021年)

2020年東京オリンピック、パラリンピックの開催が決定したことに伴い、臨海副都心シンボルプロムナードにて「花と緑のおもてなしプロジェクト」と称し、全国から有志を集め、ジャパンフラワーセレクションの入賞品種を協賛いただきガーデンの制作、維持管理を行いました。猛暑の中でも夏花を美しく觀賞できることを立証しました。

全国都市緑化フェアでの会場立体装飾、コンテスト開催(2023年～)

2023年からは名称を「マスターの



全国マスター会西洋美術館地獄門



宮家に飾られたバスケット



日比谷公園ガーデニングショー



臨海副都心おもてなしプロジェクト



早春の花壇



夏の花壇



全国都市緑化フェア



かわさきフェア

集い」と変更し、全国都市緑化フェアの開催地にあわせて、各支部が中心となり企画運営しています。2023年「せんだいフェア」会場、2024年「かわさきフェア」会場、2025年は「ぎふフェア」での開催を予定しています。

GREEN×EXPO2027

(2027年国際園芸博覧会)に向けて

2027年国際園芸博覧会の開催にあ

たり、協会として様々な形で参加し、協会設立より30年が経過した日本のハンギングバスケットの魅力を存分に発信したいと考えています。今般「2027 JHBS ALL JAPAN」を新設し、全国から多くの有志を募り、これまでにない立体装飾の醍醐味を表現し、花と緑で来場者に多くの感動をもたらせるよう努めます！

『源氏物語』 ネクストジェネレーション ～光源氏の子孫たちと花～

日にち：11月21日（木）

会場：緑と水の市民カレッジ（日比谷公園）

講師：理事 川崎景介

昨年開催の『『源氏物語と花』～光源氏
氏が植物に託した意味～』の続編です。
『源氏物語』全54帖のうち、光源氏亡

き後を描いた「宇治十帖」に登場する
5人にフォーカスし、内容と5人の相
関関係について説明した後、それぞれ
が詠んだ歌に出てくる梅、山桜、ススキ、
橘、女郎花などの植物が登場人物のど
ういう心を表したのか、物語の中でど
のような役割を果たしたのかなどを、
美学美術の観点よりお話ししました。
難解な物語をわかりやすく説明す
るために、途中でクイズを出したり、
動画やイラストを用いたり随所に工



夫が凝らされており、参加者からは楽
しくわかりやすかったと好評でした。

（丹羽）

創立80周年特別企画 江戸の花文化 一世一代相勤め申し候

日にち：11月24日（日）

会場：名古屋園芸3階教室

講師：隠居 小笠原左衛門尉亮軒

常務理事 小笠原誓

協会の創立80周年記念事業の一環
として、元会長で江戸の園芸研究の第
一人者であるご隠居こと小笠原左衛門
尉亮軒さんによる「江戸の花文化」と
題した特別講演が行われました。小笠
原さん最後の講演を聴きに、全国各地
より定員を超える40名近い方が集ま
りました。

第1部では、小笠原さんが70年間
収集されてきた江戸時代の園芸資料を
映像で紹介しながら、江戸の花文化に
ついてお話しいただきました。江戸時
代は260年という長きにわたり平和な
世が続いたことで、世界に類を見ない



花の文化が開花したのだそうです。

続く第2部では、第1部に映像でお
見せいただいた和本、刷り物、浮世絵
などから「錦秋」をテーマとしたもの
を集め、特別に公開していただきました。
通常では見たり触れたりすること
のできない資料を、実際に手にとって
見ることでできる貴重な機会。指先か
ら伝わる紙の質感、かすかに漂う古書
の香りに心が躍り、歴史と文化の重み
がひしひしと伝わってきました。

小笠原さんには協会でもたくさんご
講演いただきましたが、最後の講演に

立ち会えた皆さんは、感謝、感動、さ
みしさ…色々な感情が入り混じったこ
とと思います。

現在、NHK大河ドラマ「べらぼう
～篤重栄華之夢断」が放映中ですが、
連動企画のNHK「趣味の園芸」のミ
ニコーナー「べらぼうな花たち」も盛
り上がりをみせています。そちらにご
出演の小笠原誓常務理事のご厚意によ
り、コーナーにも登場する貴重な園芸
資料を実際に手に取ってご覧いただけ
る「江戸の園芸で遊ぶ@名古屋」とい
う講座を4月から開講いたします。4



月20日に1回
限りのお試し講
座があります。
詳しくは11ペー
ジまたは案内チ
ラシ、ホームペー
ジをご覧ください。
お誘いあわせの
うえぜひご
参加ください。

（丹羽）

～園芸文化を育んだ花～ 冬を彩る縁起花・牡丹を知る、 観る、育てる

日にち：1月21日（火）

会場：東京都美術館講堂、
上野東照宮ぼたん苑

講師：常務理事 小笠原誓
副会長 永田晶彦
松本農園（鳥取県大根島）松本悠太
上野東照宮ぼたん苑 苑長 小野晋吾

1月下旬というのに、コートが要らないほどのぽかぽか陽気。園芸の楽しさがギュッと凝縮されたような、冬の日の午後でした。第1部は東京都美術館の講堂で、小笠原誓常務理事のご講演。ボタンの園芸の歴史について深く面白く語っていただきました。「牡丹」の字源、いつ日本に渡来したか？、寒牡丹と冬牡丹の違い、なぜ獅子にはボタン？、能や歌舞伎の舞台に飾られるボタンの造花、浮世絵のボタン（鳥文斎栄之、歌麿、北斎）、そしてNHKの大河ドラマ「べらぼう」と趣味の園芸の「べらぼうな花たち」の紹介、と盛りだくさんで、その上、1時間の講演時間を5秒も違えないワザはさすがでした。美しい絵画や古書の画像も堪能させていただきました。

小笠原常務理事に続いて、永田晶彦副会長との対談形式で、大根島の松本農園の松本悠太さんからボタンの苗作りについての話がありました。台木と

小笠原常務理事



左から小笠原常務理事、永田副会長、松本さん



小野さん

するシャクヤクのタネまきから始まり、「ひげむしり」という根の整形、台木完成まで2年かかること、ボタンの接ぎ穂の切り方、接ぎ方、万単位の株の手作業での植え付け、掘り上げ。じつは昨春、鳥取で開催された国際園芸学会の視察旅行で松本農園を見学させていただきました。広大なボタン品種見本園（畑？）で松本さんのお義父様から直接、育種のお話もお聞きしましたので、今日の講演で改めて技術力とボタンへの情熱に感銘を受けました。印象に残ったのは、250もの品種を接ぎ木で維持しているのを「好きでやってるんで、あれなんですけど」とおっしゃったことです。品種保存の意義を実感していらっしゃるからこそ、と感じました。

第2部は上野東照宮ぼたん苑に移動して「冬

ぼたん」を見学しました。苑内貸し切りです。私はなんと30年ぶりの訪問でしたが、花はもちろん、葉の美しいことに驚きました。傷一つない柔らかな葉が藁ぼちに守られていました。ボタンの花の色、ぼかしや縞などの変化の豊かさ、そして何よりも花の大きさと優雅な存在感は、やはり花の王様です。苗を購入されている方もあり、まさに今日のタイトル「冬を彩る縁起花・牡丹を知る、観る、育てる」そのもの。充実のひとときでした。

（御巫）



みんなの緑学 令和6年度後期

「もちだ先生と牛ちゃんの季節の園芸作業徹底攻略」【冬】土・肥料・病虫害対策のお悩みQ&A / 【春】この春植えたい花と野菜を上手に育てるコツ

日にち：【冬】12月13日（金） / 【春】2月28日（金）

会場：緑と水の市民カレッジ（日比谷公園）

講師：前理事 望田明利
住友化学園芸（株） 牛迫正秀

【冬】では、お客様相談室やセミナーで寄せられた質問を「農薬」「肥料」「土」それぞれから10ヶピックアップし



て、牛迫正秀さん（牛ちゃん）に詳しく解説いただきました。「水に薄めた薬剤はそのままにしておいてよいの？」など、日ごろの疑問やお悩みが中心で、どなたにも当てはまる内容でした。後半では、望田明利さん（もちだ先生）に参加者からの質問にお答えいただきました。「お悩みQ&A」の後なのにまだ質問がある…やればやるだけお悩みは出てくるものなんだな、と実感しました。

【春】は久しぶりに望田さん単独でのセミナーになりました。人気の「花」「野菜」「果樹」計30品目について、基本的な栽培方法から注意したい症状や病虫害、それらに有効な薬剤や対処方法などを詳しくお話いただきました。望田さん自身が日ごろから畑を借りて花や野菜を育てているので、知識と経験に基づく話は説得力が違います。恒例の質問タイムでは、「先生オススメのトマトの品種を教えてください」

い」というものも飛び出し、聞きたくなってしまうのも納得です。

このセミナーは、13年前に「もちだ先生の知らない常識・知ってる間違い」「もちだ先生のココだけの話」というタイトルで「土」「肥料」「薬品」「病虫害」「雑草対策」などすべての植物に共通する内容として始まりました。昨年から、望田さんの部下だった牛迫さんにも加わっていただきましたが、今回で望田さんがご勇退されることになりました。長い間ためになる話をお聞かせいただきありがとうございます。

・・・ですが、引退を惜しむ声がありにも多く、再登板をぜひお願いしたいと思っています。

（丹羽）



望田前理事

おもてなしガーデンボランティア (情熱のローズガーデン)

シンボルプロムナード公園内
「情熱のローズガーデン」
(東京都江東区)
のボランティア活動報告です



《11月11日(土)》

ジニア、ニチニチソウなど夏の花を抜き取り、アイスチューリップ 624 ポットを植え付けました。花色ごとに分かれた花壇へ、蕾が固く花色が見えない状態でしたので、品種名から花色を確認しながらの定植。直径 12cm のポット内に 6 球前後ある球根の数に驚きながらの定植でした。

《12月14日(土)》

11 月に植えたアイスチューリップは 12 月初めくらいから咲き始め、手間をかけた分、この日もとてもキレイに咲いていました。アリウム、スイセンなどの球根を植え、その上を踏まないように支柱を立てました。長すぎると悪目立ちするし、短いとしゃがんで作業するときには危ないし…支柱の長さにもこだわりと工夫が詰まっています。

《1月11日(土)》

チューリップの植え付け、食香バラの軽めの剪定をしました。チューリップ



は植えるところを決めたら、まず丁寧に除草と清掃をします。次に土に楕円を描き、そこに球根を何球かかためて植えたら目印の支柱を立て、活力剤をやったら植え付け完了です。ひと手間もふた手間もかかりましたが、その差は出来栄に表れることでしょう。

《2月8日(土)》

バラの冬剪定をしました。この花壇では、バラも他の草花と溶け込むようにデザインされているので、コンパクトでキレイな樹形にしたいところ。杉井さん、あちこちで何度もレクチャーしていました。



「情熱のローズガーデン」は、りんかい線「東京テレポート」・新交通ゆりかもめ「青海」の駅近くにあります。ぜひお出かけください。

(丹羽)

「おもてなしガーデンボランティア (情熱のローズガーデン)」 講習会 2024-2025

日にち：1月11日(土)

会場：東京港埠頭株式会社社会議室

講師：浦辺まき子(中国山東省平陰県バラ大使)、小杉波留夫(フロスオリエンタリウム副社長)



「情熱のローズガーデン」には食香バラのエリアがあります。日本ではバラは見ることで、育てることが中心ですが、中国では利用するために栽培され、ポプリ、バラ酢、バラ塩、バラ酒など暮らしのなかのさまざまなシーンで利用されているのだそうです。そこで昨年度に続き、中国山東省平陰(へいいん)県のバラ大使に任命されている浦辺まき子さんと、一緒に活動されている小杉波留夫さんに、食香バラの花びらを使った「バラのハンドローション」の作り方と、食香バラの種類や特徴、使いみちなど、自分で育てたバラを暮らしに取り入れる方法を教えていただきました。今回 2 回目の参加という方も多く、あっとい



う間に見た目も美しいハンドローションが出来上がりました。教室がバラの香りに包まれ、心地よくなりました。

講習会はボランティアに参加してなくても受講可能です。来年度の講習会の予定が決まりました。詳しくは P11 またはチラシ、ホームページをご覧ください。

(丹羽)

園芸文化協会が手伝う

この冬の花壇から



新宿御苑の花壇

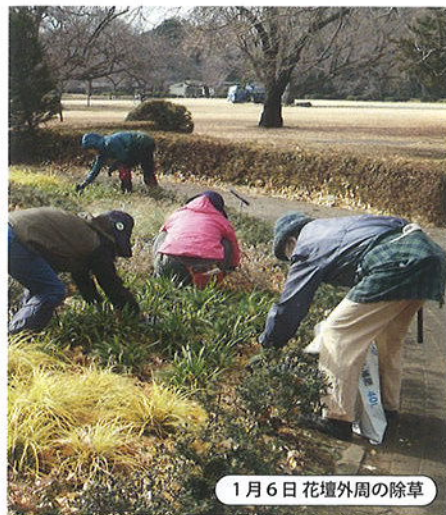
今年は寒さが厳しいこともあり、キンギョソウをはじめノースポールもまだあまり蕾が上がっていません。この春に向けて植えたのは、ノースポール、キンギョソウ、よく咲くスマレのカシス、ラベンダーソフト、ロゼをミックスで使いました。そしてチューリップは6品種を植え付けましたので、春の開花が楽しみです。この丸花壇は背景にサクラやイチョウが植えてあるため、春はピンクとのコンビネーションを、そして秋には黄色が映えるように色彩を意識してデザインしています。

丸花壇を囲む扇花壇と称する花壇には、昨年カラーリーフのオーナメンタルグラスやアペリアと常緑のアガパンサスを植えましたが、少しずつ大きくなりました。こちらも花壇の花や背景になるサクラ、イチョウを引き立てることを考慮して選んだ植物です。トータルで四季折々の色合いをお楽しみいただきたいと思います。

サクラの時期は特に見ごろとなります。4月24日までは毎日開園していますので是非お立ち寄りください。



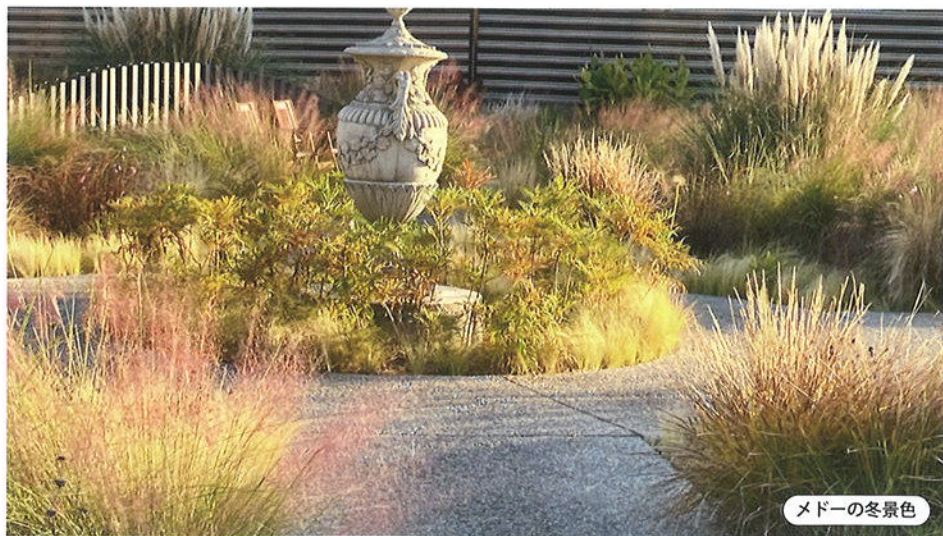
12月2日 チューリップの球根を植えました



1月6日 花壇外周の除草



12月2日の丸花壇



メドーの冬景色



冬の作業



熱海桜のお花見

荒川区立宮前公園

園芸文化協会会員の宮前公園サポーターの方々の活動も3年が終わろうとしています。みなさまが宮前公園の大ファンとして常に全力で支えてくださったおかげで、引き続き3年間の管理を任せていただくことができました。宮前公園は持続可能性を追求して1年草花壇を極力減らしているため、冬の作業はいたって地味な除草や枯れ枝切りなどとなります。

寒い2月の作業の中、宮前公園で一番先に咲く熱海桜のお花見をすることができました。

枯れ姿のグラスも3月には切り戻して春の準備に入ります。原種のチューリップがどんどん増えて葉をしげらせているのを見ながら待ち遠しい春に思いを寄せて寒い風に耐えながらの作業が続いております。

今年も1年草花壇はネモフィラがたくさん咲きます。遠くにいかなくてもネモフィラが見られると、区民のみなさまから好評です。そして宮前公園には13品種のサクラが植えてありますので、長くとお花見が楽しめます。都電に乗ってのんびりお花見にいらしてください。

(奥)

今号のひと

理事 杉井 志織さん



昨年6月に理事に就任した杉井志織さんをご紹介します。街なかや公園、個人邸の植栽設計や管理、イベントでの装飾、コンテストの審査員などなど活躍の場は多岐にわたり、現場で培った経験と知識をテレビ、ウェブなど様々なメディアを通してわかりやすく発信されています。8ページで紹介の花壇ボランティア指導も4年めに入り、4月から新たに晴海ふ頭公園でも始まります。気さくでチャーミングな杉井さんに皆さんぜひ会いにいらしてください。

好きな植物は？ ガーベラ

趣味は何ですか？ 暮らしを楽しむこと。家のことをしたり、登山・温泉・スキーへ行くこと、などなど

座右の銘はありますか？ 龍になれ、雲おのずから集まる

幸せを感じるのはどんな時？ 美しい景色・美味

しい食事・湯船に浸かった時・お布団に入った時・親しい人たちと過ごす時間・仕事後のアルコールなどなどの心がほっとほぐれた時かな～

最近感動したことは？ 一人でレゴブロックを仕上げられたこと。しかも2日で！

尊敬する人は？ 母・喜多子と長年師事する現代生け花作家の松田隆作先生

休日の過ごし方は？ 家の中のことを楽しみます。キッチンで海外ドラマをみながら、呑みながら…時間がかかる料理を作ったり、パウンドケーキを焼いたり、片付け物をしたり、お稽古の花を飾ったり…暮らしを楽しんでいます。

皆さんへのメッセージをお願いします

建築を学んだはずが、チャーミングな切り花の先生に出逢い、「天才ってこういう人か…」と切り花を学び、いつからか、一つの植木鉢から街の緑、そして公園の景観植栽に携わるまでになりました。日々植物に触れ想うことは、しなやかな枝は折れにくいように、柔軟なものの見方ができる人でいたいと思うこと。植物を通じて、暮らしの中にとけこむ園芸を会員の皆様と共有できれば嬉しいです。

サクラソウ名品集

「櫻草勝花品」

坂本浩雪著

天保六年閏七月

隠居 小笠原左衛門尉亮軒
https://nagoyaengei.co.jp/ より

著者は坂本浩雪、天保六年閏七月、著者本人の自筆本である。

先ず序を紹介しよう

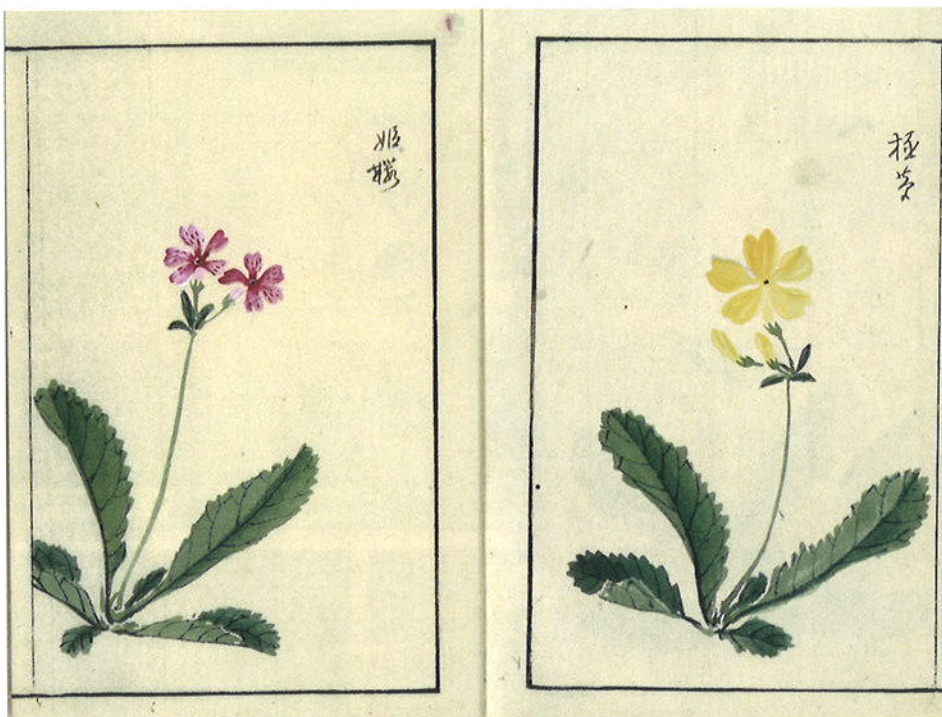
「桜草 漢名不詳 蠻名スレウデルブルーム 桜草近年種類甚ダ多シ好事者ハコレヲ翫賞ス 新奇花ヲ生出シ勝ト為ス 故二年ヲ逐ッテ名花多ク生ズ 今図スル所者真ニ 千百之一ニヤ (読下し送り仮名著者補)

天保六年閏七月既望

青蒼葉ショウ葦溪主人識 印

参考＝青蒼葉ショウ葦溪(ヤクショウシンケイ) (浩雪の別号)

図は上下二冊合計八五種、一頁一図、丁寧な作図である。全て名称入、当資



料の中に「極黄」と名のある純黄の記載があり、日本サクラソウに黄色花の存在が珍しく、研究者の注目するところである。著者については、本草家であり画家でもあった。特にサクラの絵

を得意とした。寛政十二年生、嘉永六年没、五四才。和歌山藩医坂本純庵の長男。長じて親と曾繁に本草学を学び摂津高槻藩に禄仕。絵を良くした。

お知らせ

計報

マミ川崎様(賛助会員) 鈴木善三様(個人会員・元事務局長)
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

総務委員会・事業委員会より

●「令和7年度定時総会」「令和7年度園芸文化賞表彰式・記念講演」「懇親会」の日程が決まりました。

日時：6月16日(月)13:00～

会場：東天紅上野店ルナホール

詳細は追ってご案内いたします

＊ホームページリニューアルオープンしました＊

セミナーの情報をいち早くご覧いただくことができ、ホームページから申込も可能です。これから内容を充実させてまいります。

新ホームページURL：<https://engeibunka.com>



編集委員会より

●会報42号p11「編集長の独り言」で予告しました新連載「園芸道具を識(し)る」は、44号(2025年6月発行)からの開始となります。

講座委員会より

《セミナー実施報告》

●11月24日(日)

江戸の花文化 講師：小笠原左衛門尉亮軒(元会長) 参加：37名

●12月13日(金)

もちだ先生と牛ちゃんの「季節の園芸作業徹底攻略」【冬】土・肥料・病害虫対策のお悩みQ&A 講師：望田明利(前理事)・牛迫正秀(住友化学園芸株) 参加：24名

●2月28日(金)

もちだ先生と牛ちゃんの「季節の園芸作業徹底攻略」【春】この春植えたい花と野菜を上手に育てるコツ 講師：望田明利(前理事) 参加：26名

●1月11日(土)

「おもてなしガーデンボランティア(情熱のローズガーデン)」講習会 2024-2025 冬のバラ祭 冬こそバラを楽しもう！ドライを使ったハンドローションづくり 講師：浦辺冬子(山東省平陰県バラ大使)、小杉波留夫(フロスオリエンタリウム副社長) 参加：24名

●1月21日(火)

～園芸文化を育んだ花～冬の縁起花・牡丹を知る、観る、育てる 講師：小笠原誓(常務理事)、松本悠太(松本農園)、永田晶彦(副会長)、小野晋吾(上野東照宮ぼたん苑) 参加：62名

●2月26日(水)

サスティナ宿根草カラーレッスン レッスン5：チョコレート、ワイン(セミナー) 講師：奥峰子(常務理事) 参加：21名

《セミナー実施予定》

※予告なく変更および中止になる場合もございます。

●江戸の園芸で遊ぶ@名古屋園芸

日時：4月20日(日)10:30～12:00 講師：小笠原誓(常務理事)

会場：名古屋園芸3階教室 参加費：個人会員2,200円 一般3,300円(他テキスト代220円) 定員：20名

●江戸の園芸で遊ぶ@名古屋園芸 令和7年度上期(5回連続)

日時：5月18日、6月29日、7月20日、8月24日、9月

21日 いずれも日曜日 10:30～12:00 講師：小笠原誓(常務理事) 会場：名古屋園芸3階教室 参加費：個人会員11,000円 一般16,500円(他テキスト代1,100円) 定員(各回)：20名

●緑と水の市民カレッジ「みんなの緑学」令和7年度前期

*今期より個人会員は参加費が割引となります。

(1) 酷暑も花をあきらめない！スペシャリストから学ぶ酷暑を乗り切るコツとテクニック(全3回)

①5月30日(金) 花選び：真夏に強い花とラクできるメンテナンス 講師：藤原雅志(株)ハクサン

②6月27日(金) こだわりの極意：有島流見た目にもこだわった暑さから鉢植えを守る極意と管理のコツ 講師：有島薫(ローズライフアドバイザー)

③7月25日(金) 植物を守る：葉焼けや病害虫から植物を守る効果的な方法 講師：牛迫正秀(住友化学園芸株) 時間：13:30～15:30 会場：緑と水の市民カレッジ(日比谷公園) 参加費(各回)：一般2,000円(個人会員1,600円) 定員(各回)：50名

(2) 花はなぜ美しいのか～美しさと魅力の秘密をひも解く～

日時：8月30日(土)10:30～12:45 講師：川崎景介(理事) 会場：緑と水の市民カレッジ(日比谷公園) 参加費：一般2,000円(個人会員1,600円) 定員：50名

●ガーデンボランティアのための講習会2025-2026(全4回)

(1) 6月14日(土) 酷暑を乗り切る！真夏に強い花とラクできるメンテナンスのコツ 講師：堤洋祐(株)サカタのタネ

(2) 8月9日(土) 夏もあきらめない花壇づくり 講師：杉井志織(理事)

(3) 9月13日(土) プロに学ぶダリアの魅力と育て方 講師：山口まり(園芸研究家)

(4) 1月10日(土) プロに学ぶパンジー・ビオラの魅力と育て方 講師：笈川勝之(理事) 会場：青海フロンティアビル(東京港埠頭株)内 参加費(各回)：一般2,500円(個人会員、ボランティア：2,000円) 定員：30名

《編集》編集委員会：南場浩一 奥峰子 御巫由紀 丹羽理恵

DTP：清野典子

編集長の独り言

今年、園芸文化協会にとって一番の大きな事業「創立80周年記念式典」が盛大に開催されました。創立されたのは終戦の前年、日本各地が空襲に見舞われていた頃で、戦争が終わっても食糧難が待ち受け、生きていくのが精一杯という時代でした。戦後の荒廃した社会と人の心を、いつか花と植物で豊かにしようとの思いで、先輩諸氏は協会活動に当たられていたのではないかと推察いたします。その後、見事に日本は復興し、物質的に豊かな社会となりましたが、反面、何か心の豊かさに欠けているようなところが見受けられます。花は心の栄養と申しますが、現代人に一番必要なものではないでしょうか。これからの協会活動が、人の心を豊かにすることに貢献できれば、先輩諸氏の思いをつなぐことにもなると思います。

南場浩一

強くあれ、美しくあれ

MY ROSES

マイローズ®

ばら専用資材
マイローズ®シリーズ

NEW **NEW**



ペニカXファイン®スプレー 殺虫殺菌剤
マイローズ®ペニカ®BT殺菌剤 殺菌剤
マイローズ®ばらの培養土 用土

 住友化学園芸株式会社
www.sc-engei.co.jp

柴田園芸刃物株式会社

ハイドロボール

●大粒 (8~16mm)
●中粒 (4~8mm)
●小粒 (4mm以下)



安全・清潔
天然の凝灰質頁岩を主成分とし、臭いがなく、虫がわきにくい

あらゆる植物の培地として
観葉植物はもとより、野菜やハーブなどの口に入れる植物の栽培にも利用できる

環境にやさしい
こわれにくく、何度でも洗って使用できる

ご使用の際は、一緒に根腐れ防止剤をお使いください

柴田園芸刃物株式会社 <https://shibata-engei.co.jp>



 **SUNRICH**
サンリッチひまわり

ひまわりで日本中に笑顔と元気を!

SUNRICH

サンリッチひまわり

 **タキイ種苗株式会社**
<https://www.takii.co.jp>

春のぼたん祭

第四十六回  上野東照宮

開苑期間中無休
2025年 4月5日(土) ▶ 5月6日(火)

上野東照宮ぼたん苑 (上野動物園隣)
〒110-0007 東京都台東区上野公園9-88
TEL: 03-3822-3575

主 催 一般社団法人 上野観光連盟
後 援 台東区 公益社団法人 園芸文化協会 詳しい情報はこちらから

